

人口減少に伴う本市の課題と対策は

市長 働ける環境づくりが行政の大きな役目。



松永忠次 議員

市の将来像について

議員 市長は市民一人一人の幸せを実現するため、

住み続けたい、住んでみたいまち南島原とうたっているが、その内容は、

市長 (1)安心して暮らせるまち①災害に強いまち、

②ゼロカーボンシティの推進、③地域の移動手段の確保、④公共施設の統廃

合の推進、(2)地場産業の振興、デジタル化の促進、

(3)にぎわいのあるまちづくり(子育て世代にとつて

住みやすいまちの構築。)

議員 人口減少に伴う本市の課題と対策は。

市長 働ける環境づくりが行政の大きな役目。

堂崎港埋立地について

議員 現在J.A島原雲仙

の生産流通団地(6万7千㎡)が施工されているが、残りの15万3千㎡の活用は。

市長 企業誘致に取り組みたい。

議員 定住・人口減少対策のためにも絶対誘致が必要だ。

自転車歩行者専用道路について

議員 安全対策は。

建設部長 長崎県公安委員会及び南島原警察署と協議を重ねている。交差点の手前30mの青色のカラー舗装、車両の進入防止と注意啓発の表示盤の設置等の整備を行う。

議員 原資は幾らぐらいか。

建設部長 道路整備の原

資は、国土交通省所管の社会資本整備総合交付金と過疎事業債で賄っている。

総務部長 当初35億円の場合、一般財源が4億から5億円程度、10億円増額により1億から1億2千万円程度増額する。

議員 工事が45億の場合、一般財源は5億〜6億円ぐらい。

小川堀切線について(有家駅下小川道路)

議員 進捗状況は。

建設部長 交差点の用地並びに物件移転も御協力いただき完了し、工事の入札も進み着工のみである。



小川堀切線

須川団地の建て替え事業について

議員 設計業者は地元か。

建設部長 工事規模を考慮して県内の設計業者を選定し指名競争入札を行った。

議員 本場に地元産業を大事にした入札を。

その他の質問

・湯楽里について



質問の様子を動画で見よう

人口減少対策のひとつである空き家バンク事業の充実を

市長 他の自治体の状況を見ながら検討していきたい。



田中克彦 議員

空き家対策について

議員 本市の空き家対策について伺う。

地域振興部長 平成21年度から空き家バンク制度を設けており、これまで移住者に118件活用され、現在31件の紹介できる物件がある。移住促進

空き家活用事業補助金(上限50万円)を設けて活用を助長している。

議員 人口減少対策の面

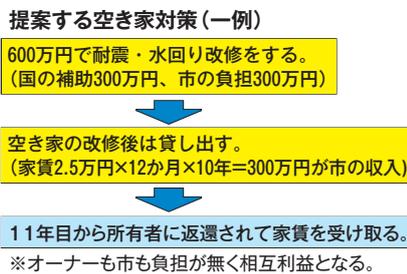
からも、補助金をもっと

手厚くできないか。

市長 他の自治体の状況を見ながら検討したい。

議員 「空き家を町が借

り受けて改修し、移住者に貸す」という他町の取組がある。この取組を本市に当てはめて、以下のとおり提案するが、参考にして事業化できないか。



市長 検討していきたい。

中学校部活動の地域移行について

議員 中学校部活動地域移行について、今後のスケジュールを伺う。

教育長 本年度中に生徒・保護者・教職員に対してアンケートを実施し、

実態やニーズを把握する。令和5年度に部活動のあり方検討委員会を設置して方向性について話し合う。

令和6年度に準備が整った



質問の様子を動画で見よう

ところから地域移行を行い、令和7年度から全ての部活動での休日の地域移行を目指していきたい。

議員 単独校では部活動が成り立たない、やりたいう種目が無いという本市ならではの課題等から、土日に限らず平日も含めて検討することはできないか。

教育長 将来的には平日の地域移行を進めることは必要なことだと考えるが、第一歩として休日の地域移行を進めたい。

教職員の顧問弁護士への相談について

議員 学校から弁護士に相談できるシステムはあるのか。

教育長 南島原市顧問弁護士に相談を行うことは可能である。

その他の質問

・B&G海洋センター整備事業について

・婚活事業について

・学校における臨床心理士の活用について

・湯楽里について